

2020年卒
Vol.05

3月1日時点の就職意識調査 〈速報〉

キャリアス就活 2020 学生モニター調査結果 (2019年3月発行)

2020年卒者の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートした。「キャリアス就活 学生モニター」の解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行ったところ、前年同期調査に比べ全体的に動きが早まっており、1割を超える学生が早くも内定を手にしていることがわかった。内定率のほかエントリー状況などの主要指標のみ取り急ぎ紹介したい。

1. 3月1日時点の内定状況

- 内定率は13.9%。前年同期実績(8.0%)を5.9ポイント上回る
- 内定企業の6割超(64.6%)は「インターンシップ参加企業」
- 内定取得者のうち、就職先を決定し活動を終了したのは10.4%(モニター全体の1.4%)

2. エントリー状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は23.1社。前年調査(22.4社)より0.7社増加
- 今後の予定社数の平均は10.6社。前年調査(13.3社)より2.7社少ない

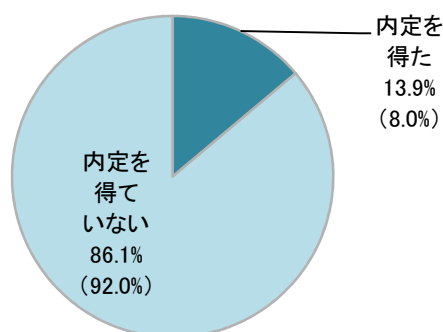
1. 3月1日時点の内定状況

2020年卒者の就職戦線は始まったばかりではあるが、調査時点ですでに内定を手をしているという学生は全体の13.9%に上った。前回調査(2月調査)からの1カ月間に5.8ポイント上昇しており、前年同期実績(8.0%)を5.9ポイント上回る。

2月調査では、インターンシップ参加企業を中心に数社の本選考を受験する動きが見られたが、内定を得た企業のインターン参加経験の有無を調べたところ、内定企業の6割超(64.6%)がインターンシップに参加した企業だった。この比率は毎年上昇している。

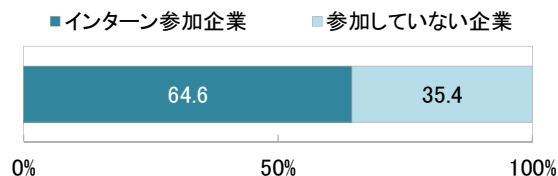
内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは10.4%。大半は就職活動を継続していると回答しており、インターンシップ企業の内定を足掛かりに、就職活動を本格化させようという考えが読み取れる。

〈3月1日現在の内定状況〉

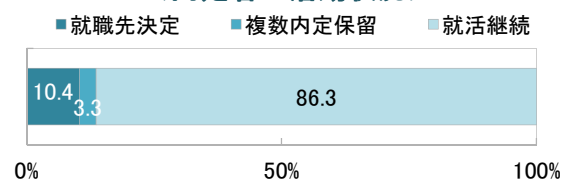


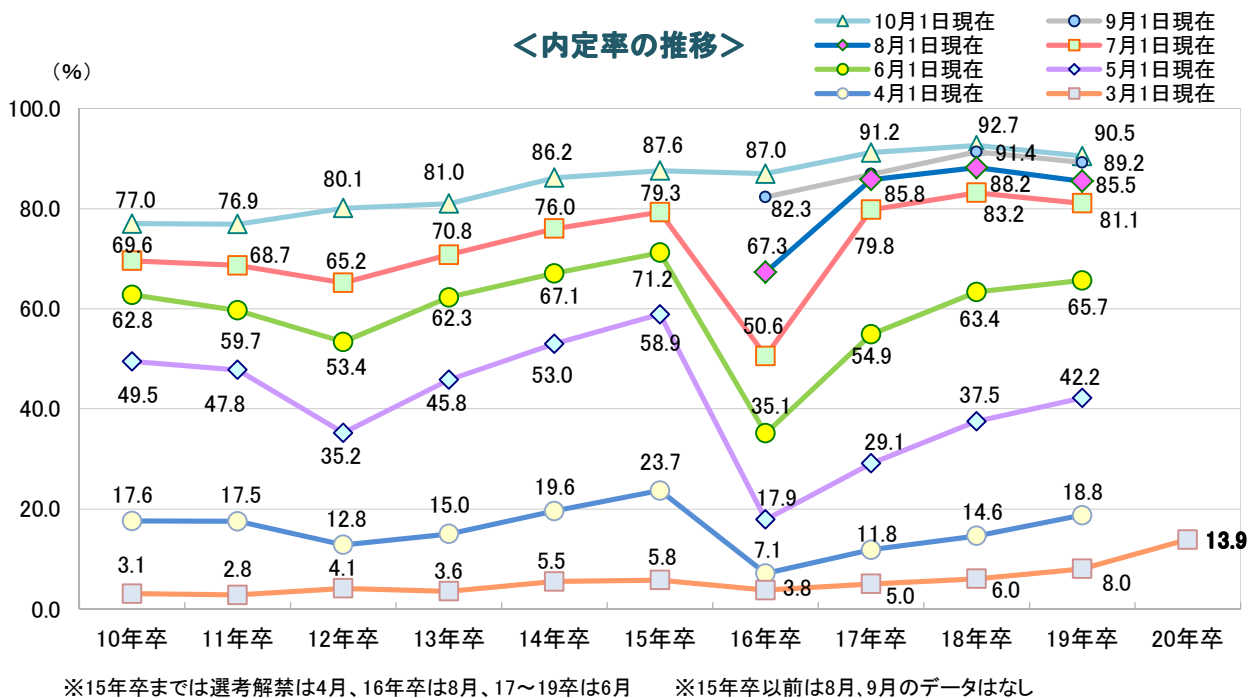
*「内定」には、内々定を含む
※()内は2018年の同調査での3月現在の数値

〈内定を得た企業の内訳〉



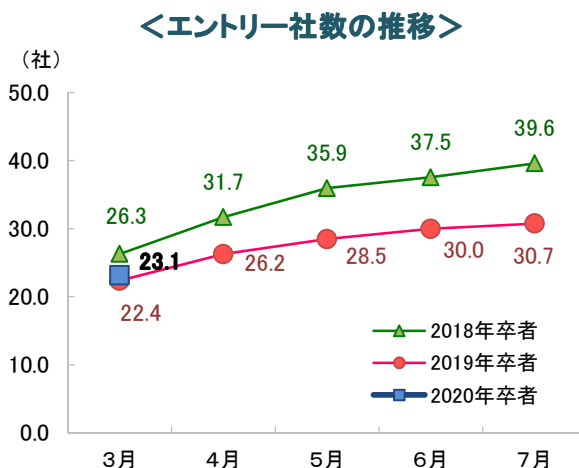
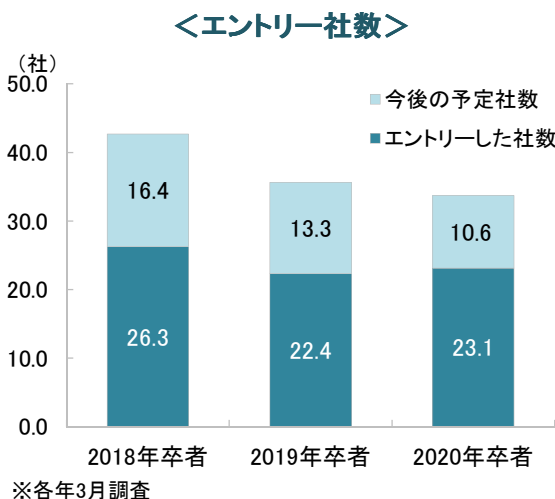
〈内定者の活動状況〉





2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 23.1 社で、わずかだが前年同期実績 (22.4 社) を上回った。ただ、今後のエントリー予定社数は平均 10.6 社で、前年同期調査 (13.3 社) を 2.7 社下回る。エントリーのタイミングがやや前倒しになったと考えられ、今後の伸びは鈍いと予想される。このまま進行すれば、今年の就活生の最終的なエントリー社数は前年を下回る可能性もありそうだ。



調査概要

- 調査対象 : 2020年3月に卒業予定の大学3年生 (理系は大学院修士課程1年生含む)
- 回答者数 : 1,318人 (文系男子448人、文系女子383人、理系男子340人、理系女子147人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2019年3月1日～6日
- サンプリング : キャリタス就活 2020 学生モニター (2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)